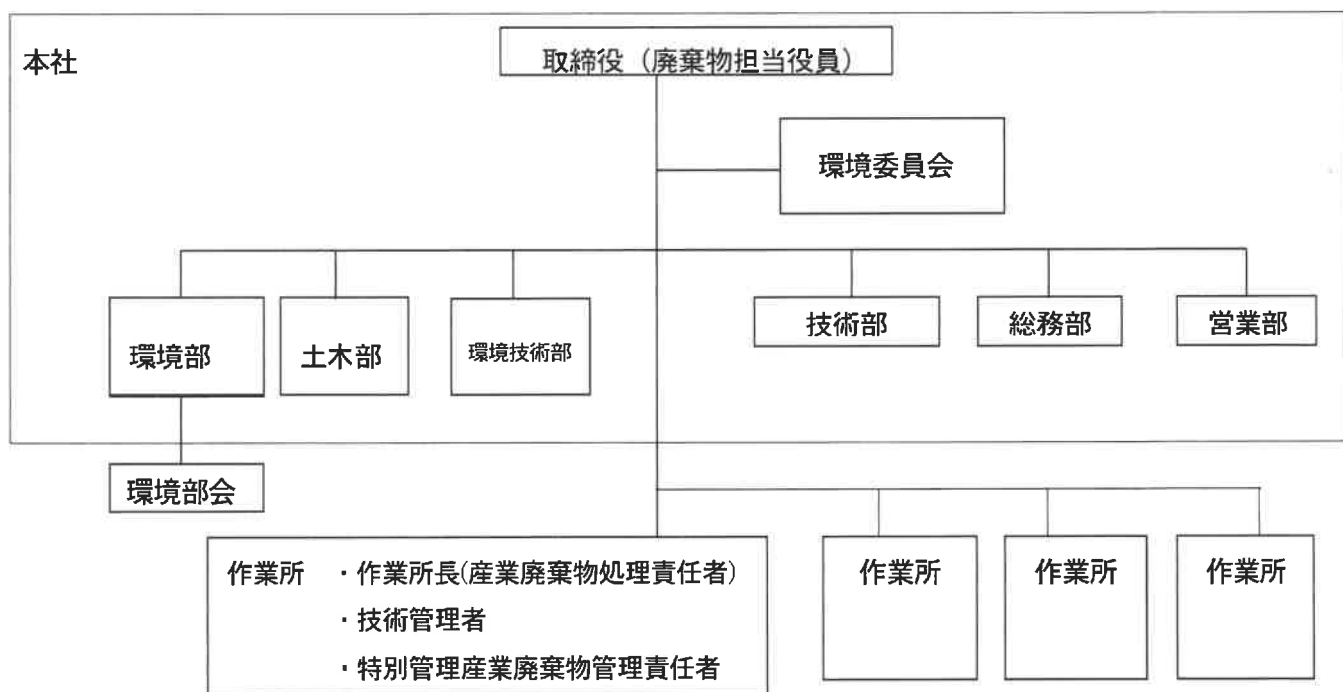


産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 5月27日	
島根県知事 丸山 達也 殿	
	提出者 住 所 島根県出雲市枝大津町2番地7 氏 名 大福工業株式会社 代表取締役 福代明正 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0853-21-4151
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大福工業 株式会社
事業場の所在地	島根県出雲市枝大津町2番地7
計画期間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	資本金3,000万円
③ 従業員数	94人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	土木・建築・解体工事 ① がれき類⇒自社または再生処理業者へ委託して再生砕石として再資源化する。 ② 木材類⇒再生処理業者へ委託して木材チップとして再資源化する。 ③ その他廃棄物⇒中間処理又は最終処分業者へ委託処分する。

●管理体制（廃棄物処理に関する管理組織等）

統括責任者		所 属：本社	職：常務取締役 神田 卓
廃棄物担当		組織名：環境部 組織人数：18人	
役 割	環境委員会	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付、管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○各作業所に対する情報提供、支援及び指導 ○その他関係する事項	
	環境部会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・メンバー 環境部全員	

廃棄物管理組織



管理体制の強化

ア. 管理体制（本社）

本社内の各部署と協力し、廃棄物処理に対応するための横断的な組織を編成する。これには、部課長、作業所長が常時参加します。

本社は、各作業所の廃棄物処理状況と管理体制を定期的に点検し指導します。

イ. 管理体制（作業所）

作業所管理者は、作業所における廃棄物管理組織を整備し、定期点検を実施するなど日常管理の徹底を図ります。

ウ. 管理方法

廃棄物管理を整備し、これに基づき廃棄物を適正に管理します。

エ. 廃棄物処理に関する教育

発生抑制、減量化、循環利用及び関係法令に関する教育を行います。また、関連会社の教育、研修も強化します。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	1, 073. 30 t	— t
	（これまでに実施した取組） 分別を徹底し、不純物を除去し場外搬出量を減らす		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	1500. 00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 分別を徹底し、不純物を除去し場外搬出量を減らす		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底し、不純物を除去し場外搬出量を減らす
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底し、不純物を除去し場外搬出量を減らす

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	217.50 t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 分別の徹底		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	855. 80 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	855. 80 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 現場内分別の徹底		

(第5面)

② 計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	1000.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1000.00 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) アスファルト再生利用業者へアスファルト殻を持ち込む		
	※事務処理欄		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	250.70 t	— t
	（これまでに実施した取組） 有価物の分別を徹底する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	500.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 有価物の分別を徹底する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価物の分別を徹底する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価物の分別を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全 処 理 委 託 量	250.70 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	231.70 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	231.70 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 有価物となるよう、木の分別を徹底する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全 処 理 委 託 量	500.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	500.00 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	500.00 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 有価物となるよう、木の分別を徹底する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排 出 量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 分別を徹底し、再生利用業者へ持ち込む		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排 出 量	100.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 分別を徹底し、再生利用業者へ持ち込む		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底し、再生利用業者へ持ち込む
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底し、再生利用業者へ持ち込む

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	分別を徹底し、再生利用業者へ持ち込む		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全 処 理 委 託 量	100.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	100.00 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	分別を徹底し、再生利用業者へ持ち込む		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	55.381 t	— t
	（これまでに実施した取組） ほぼ、100%が公共工事であるため、発注者と協議する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	100.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） ほぼ、100%が公共工事であるため、発注者と協議する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ほぼ、100%が公共工事であるため、発注者と協議する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ほぼ、100%が公共工事であるため、発注者と協議する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	特に実施していない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全 処 理 委 託 量	55.381 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.79 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全 処 理 委 託 量	100.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	特に実施していない。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	排 出 量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 土砂・草等の不純物の混入に注意している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	排 出 量	50.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 土砂・草等の不純物の混入に注意する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 土砂・草等の不純物の混入に注意している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 土砂・草等の不純物の混入に注意する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	50.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 土砂・草等の不純物の混入に注意する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	排 出 量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 現場内分別の徹底		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	排 出 量	50.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 現場内分別の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場内分別の徹底
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場内分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 現場内分別の徹底		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混廃	
	全 処 理 委 託 量	50.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 現場内分別の徹底		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排 出 量	47.65 t	— t
	（これまでに実施した取組） 分別を徹底し、中間処理施設へ搬入する		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排 出 量	100.00 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 分別を徹底し、中間処理施設へ搬入する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底し、中間処理施設へ搬入する
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別を徹底し、中間処理施設へ搬入する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全 処 理 委 託 量	47.65 t	— t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	分別を徹底し、中間処理施設へ搬入する		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全 処 理 委 託 量	100.00 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	分別を徹底し、中間処理施設へ搬入する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	0.30 t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 指定処理業者へ速やかに処分する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全 処 理 委 託 量	0. 30 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0. 30 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	指定処理業者へ速やかに処分する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	排 出 量	0.20 t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	排 出 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 指定処理業者へ速やかに処分する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	全 処 理 委 託 量	0. 20 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0. 20 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 指定処理業者へ速やかに処分する		
※事務処理欄			

別添①

		前年度(R 5) の産業廃棄物 発生量	本年度の目標(R 6年度)							⑧直接委託及び自己処理後委託処分量			
			①産業廃棄物 発生量	②自己直接 再生利用量	③自己直接 埋立処分又は海洋投入 量	④自己中間 処理量	⑤自己中間 処理残さ量	⑥自己中間 処理後再生 利用量	⑦自己中間 処理後自己 埋立処分又は海洋投入 量	再生	中間処理 (再生以外)	最終処分	
県内全体													
がれき類		1,073.30	1,500.00				500.00	500.00	500.00		1,000.00		
	小計	1,073.30	1,500.00				500.00	500.00	500.00		1,000.00		
木くず		250.70	500.00								500.00		
	小計	250.70	500.00								500.00		
金属くず		0.00	100.00								100.00		
	小計	0.00	100.00								100.00		
汚泥		55.381	100.00										100.00
	小計	55.381	100.00										100.00
ガラス・陶磁器くず		0.00	50.00									50.00	
	小計	0.00	50.00									50.00	
建設廃		0.00	50.00									50.00	
	小計	0.00	50.00									50.00	
廃プラスチック類		47.65	100.00									100.00	
	小計	47.65	100.00									100.00	
廃油		0.30	0.00										
	小計	0.30	0.00										
廃酸		0.20	0.00										
	小計	0.20	0.00										